

～遙かな南の国へ～

島津朝臣

(平成20年度公開講座受講生)

新加坡…シンガポール、なんと響きの良い言葉でしょう！

一度は行って見たいと二十歳代から思っていました。その夢は人生の黄昏になってようやく思わぬことから実現しました。それは5月19日、長岡大学公開講座「海外旅行に行ってみよう！」から始まりました。講師の伊吹先生の脳裏には既にストーリーとして描かれていたのかも知れません。講座で学んだことが実現する…こんな最高の学習方法が他にあるでしょうか。「おめえさん定年になって家でボートとしているんだったらモンダイにならんテ！」とサークル仲間へ声を掛けたら「そーいが、勉強や感動にゼン使うのがイッチャンいいね」と快諾されて一緒に受講しました。昨年「みなさま京都へお越しやす」を受講されて観光旅行とは一味もふた味も違う旅を満喫された方々が同席されています。回を追うごとに「あの感動を！」という先輩の方々の気持ちが伝わってきました。

既に世界の国々へ何回も訪れた経験をお持ちの方は多いと思います。私も現役中に中国へ出向という形で体験させていただきましたが、旅行という形はでは有ませんでした。出入国書類の作成、空港内の手続き順路などよく理解しないまま人の後からついて不安を抱えながら通過してきました。

先生のメリハリある、そして巧みな話術、情熱…晩方の眠気のさす時間帯にも関わらず毎回どんどん話の中に引き込まれてしまいます。なにより明るく元気で進められる講義は受講生に息吹（伊吹）を与えていただきました。切り口や視点を変えて、旅行を豊かにするためにその国の歴史を勉強する…私には今までに考えてもみなかったことです。現地で知り合った人との触れ合いを楽しむ…これも大変豊かな気持ちにさせてもらいました。写真を送るべく住所を聞いたなら「スケベ」呼ばわりもされました。でもそんなことはモンダイではありません。

行程中に思わぬトラブルもあつたりしましたが、その一つ一つが思い出になり、ツアーメンバーの連帯感が更に深まるという結果になりました。その裏には伊吹先生はじめ大学の方々の気配りと周到な準備があつたのは言うまでもありません。MRT（地下鉄）での移動、歴史あるラッフルズホテル、マーライオン像、いかにも南国らしい植物園、ナイトサファリ…いずれも一味違う期待通りのツアーとなりました。夕闇せまる川岸でのディナー、タイガービールで乾杯！折りしもリバーフェスティバルの水上パレードの開始、なんと幸運なことでしょう。ほろ酔い気分で火照る顔もナイトクルーズの風がそっと撫でてくれる至福の一時！そして世界一のサービスで売るSQ便、豪華ホテルと綺麗な街並み、赤道直下とは思えぬ温暖な気候、そこには開放的な人達、…どれをとっても私を惹きつけてやみません。

最後になりましたが伊吹先生、高橋先生、石橋さん、素晴らしい旅をありがとうございました。沢山の感動を与えていただき心より感謝申し上げます。